

建築時期別住宅数 — 昭和55年以前に建築された住宅は21万5400戸で、住宅総数の20.1%



平成30年10月1日現在の本市の住宅総数^{（注1）}は107万戸でした。建築時期別にみると、新耐震基準施行の前年にあたる昭和55年以前に建築された住宅は21万5400戸で、住宅総数の20.1%となっています。

区別にみると、昭和55年以前に建築された住宅は、戸数は北区、緑区が2万戸以上と多く、対総数比では北区（27.1%）、港区（24.2%）の順に大きく、中区は11.1%で最も小さくなっています。

名古屋市の建築時期別住宅数（平成30年10月1日現在）

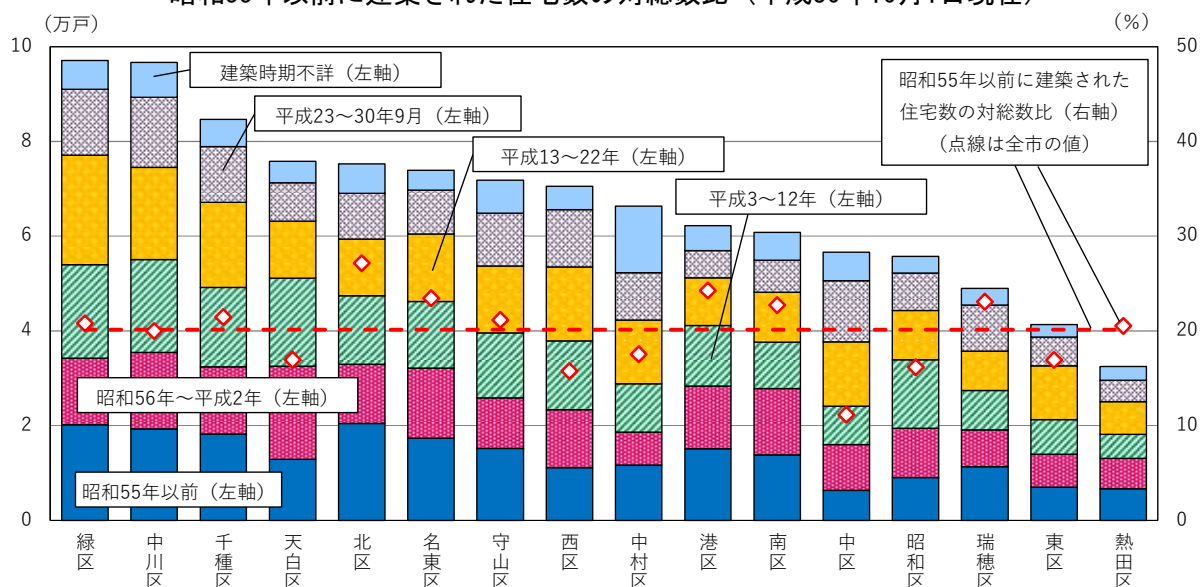
（単位：戸）

建築時期	名古屋市	千種区	東区	北区	西区	中村区	中区	昭和区	瑞穂区
総数	1,070,000	84,630	41,330	75,250	70,530	66,340	56,560	55,720	48,970
昭和 55年以前	215,400	18,170	7,000	20,430	11,110	11,640	6,300	9,010	11,300
56～平成2年	189,600	14,200	6,950	12,500	12,210	6,960	9,650	10,440	7,770
平成 3～12年	207,600	16,790	7,270	14,460	14,510	10,240	8,090	14,450	8,330
13～22年	213,200	18,020	11,410	11,970	15,620	13,420	13,590	10,360	8,360
23～30年9月	154,600	11,740	6,020	9,710	12,150	9,990	12,940	7,950	9,700
昭和55年以前の対総数比(%)	20.1	21.5	16.9	27.1	15.8	17.5	11.1	16.2	23.1

建築時期	熱田区	中川区	港区	南区	守山区	緑区	名東区	天白区
総数	32,450	96,680	62,190	60,820	71,820	97,040	73,880	75,810
昭和 55年以前	6,660	19,330	15,080	13,810	15,190	20,170	17,320	12,850
56～平成2年	6,390	16,070	13,250	14,010	10,660	14,050	14,800	19,710
平成 3～12年	5,080	19,650	12,800	9,770	13,700	19,770	14,040	18,610
13～22年	6,940	19,460	10,080	10,510	14,110	23,070	14,280	12,010
23～30年9月	4,490	14,830	5,710	6,830	11,210	13,960	9,270	8,060
昭和55年以前の対総数比(%)	20.5	20.0	24.2	22.7	21.2	20.8	23.4	17.0

区別の建築時期別住宅数^{（注2）} 及び

昭和55年以前に建築された住宅数の対総数比（平成30年10月1日現在）



（注1）ここでの住宅総数は居住世帯ありの数値であり、総数には建築時期不詳を含む。また、表の数値は表章単位未満の位で四捨五入しているため、内訳の合計は必ずしも総数に一致しない。

（注2）グラフ中の建築時期不詳分は、各区の総数から各建築時期の戸数を差し引いたものである。

資料：総務省「平成30年住宅・土地統計調査」

令和2年3月掲載